

機業 高速シートシャッター「門番」
小産 エコマーク認定

【関西】小松電機産業島根県松江市、小松昭夫社長が製造販売している高速シートシャッター「門番」の写真。全シリーズがこのほど、日本環境協会エコマーク事務局からエコマーク認定を受けた。シャッター製品では同シリーズが初めて。

認定を受けたのは、門番GF05、20型、門番KV11、51型、WV31、41型、SV26、41型。シートシャッター「門番」は主に工場や倉庫などで、フォークリフト・搬送車・人などが出入りする建物の外部や内部の開口に設置される産業用シャッターで、カーテン部分がシート主体に構成され、人と物の出入りをセンサーで自動検知し、高速高頻度で上下に開閉する。門番の開閉速度は一般的な鋼製シャッターに比べて



約10〜20倍速い。冷暖房効果を飛躍的に高め、屋内からのエネルギー流出を低減することで、CO₂などの温室効果ガス排出削減に効果を発揮する点が評価された。

門番は85年の発売以来、冷暖房効果など、工場環境を変える決定的な製品として食品、自動車、精密機械製造工場などでの導入が進み、累計で業界最多の12万台を販売している。「近年は、特に食品産業での需要が伸びている」（同社）という。

今回のエコマーク認定を受け、「国が発表した温室効果ガス25%削減に向け、環境健康問題に取り組む研究開発事業をさらに進めていく」（同）としている。（徳永清誠）

今回のエコマーク認定を受け、

（徳永清誠）